

# 平成 26 年度 5 月補正予算の概要

京 都 市

## 1 補正予算のポイント

今回の補正予算においては、消費税率引上げに伴う需要の反動減が危惧される中、京都経済の回復に万全を期すため、25 年度 2 月補正における本市独自の中小企業等への支援策、26 年度当初予算における中小企業金融支援の充実強化をはじめとする取組に続き、さらに本市独自の消費喚起に向けた取組を実施する。

また、国の「好循環実現のための経済対策」に基づく事業等について、本市への交付額等が明らかになったことを受け、直ちに補正予算を計上し、京都経済の活性化と安定した雇用の創出、市民生活の安心・安全を図る。

さらに、子育て支援、教育の充実のため、立命館中学・高等学校の土地・建物の購入等を行い、28 年 4 月の新工業高校開校に向け着実に取組を進めるとともに、新たに 2 箇所の保育所整備を行い、今後も増加が見込まれる保育需要に対応していく。

### (1) 京都経済の活性化と安定した雇用の創出

ア 本市独自の経済対策として、市内商店街等でのクレジットカード利用キャンペーンや、伝統産業製品（「京もの」）の販売促進キャンペーンを実施するとともに、49 年ぶりに後祭が復興する祇園祭や京の七夕、京の夏の旅など京都の夏の観光の PR を強化し、観光客を呼び込み、今後危惧される消費の落ち込みへの対策を図る。

イ 国の「好循環実現のための経済対策」に伴う有利な財源を活用し、成長分野の発展を一層加速させるとともに、賃金の上昇や家計所得の増大等、従業員の処遇改善に向けた取組を推進する。また、アーケード改修や防犯設備の設置等に対する補助金を増額し、商店街振興のための支援を充実する。

ウ 「京都市エネルギー政策推進のための戦略」のリーディングプロジェクトに掲げる「バイオマス産業都市構想」の策定を進める。

### (2) 子育て支援・教育の充実

ア 28 年 4 月開校予定の新工業高校の予定地である立命館中学・高等学校の土地・建物の購入等を行う。

イ 今後も増加が見込まれる保育需要に対応するため、国の有利な財源を活用し、27 年 4 月の定員増に向け、新たに 2 箇所の保育所整備を行う。

### (3) 市民生活の安心・安全対策その他

ア 国の交付金を原資とした「地方消費者行政活性化基金」が、26 年度まで期間が 1 年間延長されるとともに上積みされたため、同基金を活用して、消費者行政の活性化事業を継続していく。

イ 国の省令改正による救急救命士が行う救急処置範囲の拡大に伴い、必要な運用体制を確保する。

## 2 補正予算の内容

＜補正事業の全体像（全会計）＞

（単位：千円）

項目	経費	主な内容
(1) 京都経済の活性化と安定した雇用の創出	333,700	「夏の京都」販売促進キャンペーン、緊急雇用創出事業、商店街等環境整備、バイオマス産業都市構想策定
(2) 子育て支援・教育の充実	2,455,300	新工業高校整備、民間保育所整備助成
(3) 市民生活の安心・安全対策その他	37,000	地方消費者行政活性化事業、救急処置範囲の拡大
合計	2,826,000	（内一般会計2,554,000、特別会計272,000）

### (1) 京都経済の活性化と安定した雇用の創出 333,700千円

＜一般会計 61,700千円、雇用対策事業特別会計 272,000千円＞

（産業観光局）

#### 「夏の京都」販売促進キャンペーン 45,000千円＜一般会計＞

49年ぶりに後祭が復興する「祇園祭」や「京の七夕」、「京の夏の旅」などが控えている夏の観光シーズンに合わせ、本市独自の以下の取組を、相互に連携し、一体的に実施することで、危惧されている消費需要の反動減への対応を行い、京都経済における消費喚起を図る。

#### ◆カードを使ってお買い物キャンペーン 10,000千円

本市が商店街等の買い物環境向上のため出資しているクレジットカード一括処理事業者と連携し、京都市内の商店街等でクレジットカード利用促進キャンペーンを実施する。

#### ◆「京もの」魅力発信・販売促進キャンペーン 15,000千円

京都の伝統産業製品（「京もの」）に関する外国人向けの商品説明書（日・英・中）の配布や「京もの」販売店に対する外国人対応への助言、京都伝統産業ふれあい館等を活用したPRキャンペーンを通じて、国内外の観光客へのおもてなしの向上と「京もの」の魅力発信及び販売促進を図る。

#### ◆「夏の京都」誘客・PR強化 20,000千円

49年ぶりに後祭が復興する「祇園祭」（7月）や「京の七夕」（8月）、「京の夏の旅」（7月～9月）などが控える夏の観光シーズンに向け、電子看板（デジタルサイネージ）や雑誌媒体の活用を図るとともに、公共交通機関や旅行業界との連携によるPRを強化するなど、国内外からの誘客を目指す。

(産業観光局)

**緊急雇用創出事業（地域人づくり事業） 272,000千円<雇用対策事業特別会計>**

国からの交付金を活用し、地域社会や地域の産業ニーズに応じた、多様な「人づくり」を目指して人材育成や就業支援を行い、雇用の拡大を図る（雇用拡大プロセス）。また、成長分野の発展を一層加速させるとともに、賃金の上昇や家計所得の増大等、従業員の処遇改善に向けた取組（処遇改善プロセス）を推進する。

(5月補正)

事業数 9事業（うち成長分野の発展加速のための経済対策事業 4事業）

雇用人数 6人

処遇改善 135社（うち成長分野の発展加速のための経済対策事業 30社）

<参考>緊急雇用創出事業（地域人づくり事業）の全体像

(単位：千円)

	26年度当初予算				5月補正予算				計			
	経費	事業数	雇用	処遇改善	経費	事業数	雇用	処遇改善	経費	事業数	雇用	処遇改善
雇用拡大プロセス	247,510	8	62人		16,900	3	6人		264,410	11	68人	
処遇改善プロセス	20,490	1		1000社	255,100	6		135社	275,590	7		1135社
合計	268,000	9	62人	1000社	272,000	9	6人	135社	540,000	18	68人	1135社

(産業観光局)

**商店街等環境整備事業 14,000千円<一般会計>**

国における「好循環実現のための経済対策（商店街まちづくり事業補助金）」（25年度補正予算）の実施を受けて、商店街等におけるアーケード改修や防犯設備の設置等に対する補助金を増額する。

<参考>

国補助を活用する場合の負担割合 国 2/3, 市 1/9, 府 1/9, 事業者 1/9

補正後予算 48,000千円（当初予算 34,000千円）

**<参考>消費税率引上げの影響等を踏まえた経済対策 331,000千円（再掲）**

1 「夏の京都」販売促進キャンペーン 45,000千円

2 緊急雇用創出事業（地域人づくり事業） 272,000千円

（うち成長分野の発展加速のための経済対策事業 73,081千円）

事業数 4事業

処遇改善 30社

3 商店街等環境整備事業 14,000千円

(環境政策局)

**バイオマス産業都市構想策定 2,700千円<一般会計>**

国からの補助金(補助率10/10)を活用し、地域の特色を活かしたバイオマス産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまちづくりを目指すため、「京都市エネルギー政策推進のための戦略」のリーディングプロジェクトに掲げる「バイオマス産業都市構想」の策定を進める。

構想策定後、関係府省からの支援を受けて、バイオマスを活用した産業化に重点をおいた取組を一層推進するため、策定した構想をもとに、国の「バイオマス産業都市」への選定を目指す。

**(2) 子育て支援・教育の充実 2,455,300千円<一般会計>**

(教育委員会)

**新工業高校整備 2,122,000千円**

洛陽工業高校と伏見工業高校を統合し、28年4月に開校予定の新工業高校の整備に向け、立命館中学・高等学校の土地・建物の購入等を行う。

(保健福祉局)

**民間保育所整備助成 333,300千円**

2箇所 +110人

・新設…道心保育園(仮称)(右京区) 定員+80人

・老朽改築及び定員増…神川保育園(伏見区) 定員+30人(210→240人)

**(3) 市民生活の安心・安全対策その他 37,000千円<一般会計>**

(文化市民局)

**地方消費者行政活性化事業 20,000千円**

国の交付金を原資とした「地方消費者行政活性化基金」が、26年度まで期間が1年間延長されるとともに上積みされたため、同基金を活用して、消費者行政の活性化事業を継続していく。

(消防局)

**救急処置範囲の拡大 17,000千円**

国の省令改正による救急救命士が行う救急処置の範囲拡大(心肺機能停止前の静脈路確保及び輸液、低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与)に伴い、必要な運用体制を確保するため、救急器材等の整備や救急救命士の追加講習を実施する。

(文化市民局)

**新「京都市動物園構想」の推進 債務負担行為(27年度430,000千円)**

25年度に入札不調となった学習利便施設整備の再入札を行うため、必要となる債務負担行為の設定を行う。

### 3 補正予算の規模

(単位：百万円)

会計名	補正前の規模	補正額	補正後の規模
一般会計	739,507	2,554	742,061
雇用対策事業特別会計	799	272	1,071
今回補正しない特別会計	900,080	-	900,080
合計	1,640,386	2,826	1,643,212

### 4 一般会計補正予算の財源内訳

(単位：百万円)

項目	補正額	内 容
特定財源	2,462	負担金2, 国支出金 3, 府支出金 (国交付金) 316, 市債 2,141
一般財源	92	財政調整基金 92
合計	2,554	

救急処置範囲の拡大 2

バイオマス産業都市構想策定 3

民間保育所整備助成 296  
(道心保育園 121, 神川保育園 175)  
地方消費者行政活性化事業 20

「夏の京都」販売促進キャンペーン 45,  
新工業高校整備 17, 救急処置範囲の拡大 15,  
商店街等環境整備事業 14, 民間保育所整備助成 1

新工業高校整備 2,105  
民間保育所整備助成 36 (道心保育園 15, 神川保育園 21)

#### <参考1> 財政調整基金の状況

(単位：百万円)

25年度末 残高 (A)	26 年 度 中			26年度末 残高見込額 (A+B-C)
	積立見込額 (B)	取崩見込額 (C)		
		当初 予算	5月 補正	
2,094	(※) 13	-	92	2,015

※ 積立見込額については、運用益のみ計上

#### <参考2> 国民健康保険事業特別会計の25年度収支見込

24年度累積収支 △約10億円

単年度収支 約15億円

累積収支 約5億円 (国庫負担金の過大交付分 (約13億円) を除くと、実質的には約8億円の赤字)

⇒ 25年度の累積収支は黒字になる見込みであることから、繰上充用のための予算の補正は行いません。